

JAからのおたより

私たちは TPP に
日本が参加することに断固反対します



JA ごとう

GOTO AGRICULTURAL CO-OPERATIVES



2012
国際協同組合年



あけましておめでとうございます

1 月号

JA ごとう
2013 No. 83

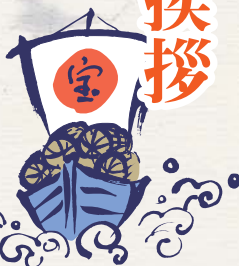


ごはんぢゃワン©

TOP
NEWS!!

第12回
JA ごとう農業まつり

新年のご挨拶



ごとう農業協同組合

代表理事組合長 中尾 弘一



謹んで新春のお慶びを申し上げます。
旧年中は当JAの各事業・運営につきまして格段のご理解とご協力を賜り、役職員一同衷心よりお礼申し上げます。

昨年十二月に行われた衆議院議員選挙においては、TPP交渉参加の是非が争点の柱となり、「『聖域なき関税撤廃』を前提とする限り、交渉参加に反対する」とした公約を掲げる自由民主党公認候補の大勝に終わりました。本県三区でも農政連盟の推薦候補で、反TPPを誓約した谷川弥一議員が見事当選を果たし、国民全体がTPPにNOを突き付けた結果となりました。

日本がTPP交渉参加の方向に進むことになれ

ば、国内産の安心・安全な農畜産物の安定供給が難しくなるのは当然のことながら、労働環境の激変、地域経済や医療の崩壊など農業以外の分野にまで多大な影響を及ぼすことは必至であります。国民の生命に直結する食と農の重要性を考えると、今回の選挙結果は至極当然のものと考えざるをえません。JAグループでは今後もTPP参加断固阻止の姿勢を貫き、総力を挙げて活力に満ちた農業づくりを注いで参る所存でございます。

さて、当JAは合併以来、五島農業の振興と食の安全・安心を追求し、強固な経営体制づくりに役職員一丸となって取り組み、昨年、合併十一周年を迎えました。これも偏に組合員・地域の皆様のご支援・ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

今後も現状に満足することなく、「チャレンジ」を基本テーマに掲げ、コンプライアンス遵守やサービスマナーの向上を図り、皆様に信頼され、地域社会に貢献しうるJAづくりに取り組んでいく所存でございます。

その一環として、ファーマーズ・マーケット(直売所)「産直市場 五島がうまい」が、地域の方々からご愛顧頂き、地産地消の拠点施設として成長を続けております。今年度はお陰さまで、昨年度を一億二千万円上回る四億七千万円の売り上げを見込んでおります。

農業の振興におきましては、安定した収量確保を図るとともに、鮮度・品質を保持できる出荷輸送体制を構築し、「五島産」安全・安心「うまい」というイメージ確立に向け、取り組みを進めて参りました。

(次ページへ)

謹賀新年

皆様のご健康とご多幸をお祈り致しますと共に、本年もなお一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表理事組合長 中尾 弘一

代表理事常務 藤野 周一

代表理事常務 川邊 義直

理事 麥田 幸弘

理事 亀山 誠

理事 山口 茂明

理事 橋詰 覚

理事 松本 昭

理事 下村 勝馬

理事 谷合 博

理事 中村 文雄

その結果、ブロッコリーやスナップエンドウなどの農産物は面積も拡大しており、中でも高菜につきましては、管内の青果物の中でもトップの販売高を誇る農産物へと成長しております。今後も契約品目の更なる面積拡大と栽培技術の向上により、五島産ブランドの確立を図りたいと考えております。

畜産におきましては、昨年十月に開催されました、全国和牛能力共進会長崎県大会で当JAから出品された五頭全てが優等賞を受賞（第四区は併せて特別賞受賞）。また、若雄後代検定牛の発掘を目的とした第八区に出品され、内閣総理大臣賞を獲得した三頭（うち一頭は五島市久賀の山田久道さんが生産）については、五島市三井楽町の山下正人さんのところで産まれた福姫暗号を種雄牛としており、当地の農業にとって、大変明るいニュースとなりました。

今後も「ごとう農協繁殖雌牛増頭実践計画」の達成に向け、JA・生産者・関係機関と一体となり、一戸一頭増頭運動を中心に展開し、目標達成に向けた取り組みを進めるとともに、喫緊の課題となっている優良繁殖雌牛群の造成対策として、向こう三ヶ年で但馬系の安福久号の母体を三〇〇頭程度導入したいと考えております。

さらに、キャトルセンターへの受入の推進と適正管理や削蹄の全頭実施による子牛の斉一化を図るとともに、三元輪番を基本とした指定交配の遵守で、肉量・肉質を兼ね備えた市場性の高い子牛生産に努めて参ります。

また、養豚につきましては、飼養管理の改善による生産率の向上と蔓延疾病の発生を抑え、生産コストの低減による経営健全化の取り組みを進め

る所存であります。

農畜産物の販売力強化につきましては、米は集荷数量三一〇トを精米工場で搗精し、全量地産地消や契約販売による取扱拡大など有利販売を進めてきたことはもちろんのことながら、「産直市場五島がうまい」出荷会員の増加によって、今まで販売流通に乗らなかった少量品目の販売が可能となったことが結実し、二十四年度の農畜産物取扱高は過去最高の四十一億円となる見込みであります。

今後も二十四年度末の販売高四十一億円必達に向け、「一円でも高く」を合言葉に販売力強化を図り、農家所得の向上に努めて参ります。

新年を迎え、役員一同決意を新たに、今後も農の振興を基盤とした五島地域の活性化に努めるとともに、総合事業としてのJAの強みを最大限に発揮し、信用・共済などその他事業においても経営の安定化や利用者満足度の向上に努め、豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに貢献して参る所存でございます。

最後になりますが、今年「チームごとう」として協同の力を再確認するため、次年度からの新たなビジョンとなる中期経営計画並びに営農振興計画を策定後、第二回の「農の深耕大会」を計画しております。多くの皆様にご参加頂きますとともに、今後もより一層のご理解、ご支援をお願い申し上げます。

今年一年も皆様のご健勝で、幸多き年となることを心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

理事	福田 馨
理事	谷川 七兵衛
理事	松向 晴美
理事	藤原 廣伸
理事	本谷 俊行
理事	中山 貞義
理事	橋下 繁子
理事	藤井 洋子
理事	阿野 芳子
理事	鶴川 栄子
代表監事	出道 廣市
常勤監事	川口 眞二
監事	萩里 浩一
監事	濱田 俊彦
員外監事	時津 雅洋

CONTENTS 目次



- 2p 新年のご挨拶
- 4p
 - ・平成24年度 第8回理事会 (平成24年12月18日 開催)
 - ・経済部ミニ展示会 PR
 - ・珍品紹介
- 5p 太陽と緑 五島がうまいの立役者
- 6p TOP NEWS 第12回 JA ごとう農業まつり
- 8p
 - ・産直市場 **五島がうまい**・直送便
- 9p 年男さん・年女さん大集合
- 10p 今月のスポット
- 12p
 - ・女性部の活動
 - ・お天気カレンダー
- 13p 青年部の活動
- 14p
 - ・金融部ローンキャンペーン PR
 - ・産直市場 **五島がうまい**・
 - ・(株)JA ごとう葬祭 浄倫会館
 - ・編集後記

<p>1、報告事項</p> <p>報告 No. 1 主な事業経過と行事予定について</p> <p>報告 No. 2 主要事業十一月末計画と実績について</p> <p>報告 No. 3 「産直市場 五島がうまい」十一月末実績について</p> <p>報告 No. 4 平成二十四年十一月～十二月期県内家畜市場市況について</p> <p>報告 No. 5 平成二十四年度JA 共済コンプライアンス点検結果及び改善方針の概要について</p> <p>報告 No. 6 のうきよう五島油槽所タンク開放検査改修工事に係る追加工事について</p> <p>報告 No. 7 年末年始の営業について</p> <p>報告 No. 8 第十二回JA ごとう農業まつりの結果について</p>	<p style="text-align: center;">平成二十四年度 第八回理事会 (平成二十四年十二月十八日 開催)</p> <p>2、議案事項</p> <p>報告 No. 9 平成二十四年度個別貸倒引当金見込額について</p> <p>報告 No. 10 平成二十四年度期末見込みについて</p> <p>報告 No. 11 貸付金の実行について</p> <p>報告 No. その他 ①年末賞与の支給について</p> <p>議案 No. 1 (株)農協観光株式の追加取得について</p> <p>議案 No. その他</p>
---	---



珍品紹介

崎山支店管内で発見された白と緑の対比が見事なブロッコリーです。
 葉の部分もきれいに区切られています。

平成24年度下地区

ミニ展示会のご案内

日時：平成25年2月16日(土)
 午前10時～午後5時

平成25年2月17日(日)
 午前10時～午後4時

場所：JA ごとう旧木場出張所

お問い合わせは…
JA ごとう本店経済部 0959 (72) 6585

太陽と緑

五島がうまい の 立役者

NO. 32

愛情満点の野菜を届ける

南松浦郡新上五島町青方郷

前田 喜庸さん(76)

前田 トシ子さん(74)

おり、収穫や水やりに余念がありません。

元々旦那さんの喜庸さんはバスの運転手、奥さんのトシ子さんは地元の食堂で働いていました。両親の引退を機に、農業を始めて十三年目。米を作っていた土地を畑に変え、安心・安全で新鮮な野菜を作ることをモットーに日々の作業を行っています。



栽培も加工も名人級

前田さんは年間を通して実に様々な種類の野菜を栽培しています。また、一方では少し曲がった大根などを生干し大根や漬物に加工して出荷。かんころとセットで島外に販売も行っているそうです。

「漬物作りも二年目を迎える頃によくやくおいしいものができたよ」とトシ子さん。特に一夜漬けや畑で栽培している「聖護院大根」を使った千枚漬は地域の方からもおいしいと好評とのこと。栽培も加工も前田さんご夫妻のきめ細やかな仕事

光っていました。

消費者に喜ばれる品物を

「魅力ある品目やおいしいと評判の品種があれば挑戦してみたい」と今後の目標を語ったトシ子さん。喜庸さんはソラマメの支部長をやっていたこともあり、納屋には喜庸さんが独自に改造した農機の数々もありました。

勉強熱心なお二人は口を揃えて「朝採りの新鮮な野菜をこれからも地域の方に届けていきたい。そのためには、野菜をもっともっと可愛がって育てていきたい」と語っていました。

前田さんは現在ご夫婦で、大根、玉葱、甘藷、トマトなどを栽培しています。



住宅街の中で

閑静な住宅街の一角に広がる畑。そこで地域でも評判の野菜を作っているのが前田さんご夫妻です。今の時期は玉葱と大根が主に栽培されて



第12回JAごとう農業まつり

下地区

11月24日(土)・25日(日)



五島牛・五島豚試食会



東日本大震災復興支援募金



オープニングセレモニー



福江中学校吹奏楽部の演奏会



福江少年少女合唱団による合唱



幼徳保育園児による踊り



カラオケのど自慢大会



ロングワイヤージャンピングバトル



青年部による餅つき

上地区

12月2日(日)



有川羽差太鼓による
オープニングセレモニー



農産物加工コンクール展示会



ケアレンジャーショー



来賓・役員による餅まき



ヒップホップダンス



ちびっこエアロビ



上五島ハーモニカ愛好会・
つばきによる演奏



「次代へつなごう協同の力と元気な五島農業!」をメインテーマに、農業まつりおなじみのイベントに加え、各種団体の出し物も行われ、多くの人で賑わいました。

第12回農産物加工コンクール入賞者

下地区入賞者

部門	褒賞	品名	氏名	支店	部門	褒賞	品名	氏名	支店
果菜類の部	最優秀賞	中玉トマト	松坂 勝美	富江	ブロッコリー	金賞		橋下 繁子	崎山
葉菜類の部	優秀賞	白菜	亀山 誠	福江		銀賞		林田 久満	崎山
果菜類の部		南瓜	吉谷 吾一	三井楽		銅賞		稲田 勝一	富江
ブロッコリー	全農長崎県本部長賞	ブロッコリー	橋下 繁子	崎山	レタス	金賞		川元 秀勝	富江
スナップエンドウ	五島振興局長賞	スナップエンドウ	浜辺 律子	三井楽		銀賞		尾崎 初雄	富江
馬鈴薯	五島市長賞	パプリカ	園山 吉弥	本山		銅賞		川本 徹	富江
穀類の部	金賞	コシヒカリ	田口 英雄	富江	中玉トマト	金賞		松坂 勝美	富江
	銀賞	コシヒカリ	水戸 定雄	本山		銀賞		阿野 隆馬	富江
	銅賞	コシヒカリ	池本 悟	富江		銅賞		野口 順平	富江
根菜の部	金賞	馬鈴薯	山内 清一	崎山	加工の部	全農長崎県本部長賞	サツマイモ納豆・生姜納豆	山下 良子	崎山
	銀賞	里芋	山中モミ子	崎山		五島振興局長賞	あじのすりみ	下村 絹代	富江
	銅賞	大根	橋下 繁子	崎山		五島市長賞	ミナみそ	田道小夜子	岐宿
		甘藷	入口 藤幸	富江		金賞	切りカブしょうゆ漬	小田オク子	福江
南瓜	金賞		吉谷 吾一	三井楽	銀賞	ルビートマトのシフォンケーキ	長尾チエ子	福江	
	銀賞		安永 吉蔵	三井楽		赤カブとキュウリのしょうゆ漬	馬場崎マツエ	大津	
	銅賞		野崎 文善	崎山	銅賞	さつまいもの牛肉コロッケ	坂井美佐子	西部	
パプリカ	金賞		園山 吉弥	本山	アイデア賞	生姜の佃煮	小田 夏枝	福江	
胡瓜	銀賞		横山 隆雄	三井楽		米粉といもの粉のシフォンケーキ	川尻 政子	三井楽	
葉菜類	金賞	白菜	亀山 誠	福江	奨励賞	お茶々もち	田道小夜子	岐宿	
	銀賞	キャベツ	大津 助男	本山	金賞	モーすぐ正月だよ弁当	石田 浩美	西部	
	銅賞	深ねぎ	中尾 宏昭	福江	銀賞	五島美豚味噌焼肉弁当	小田 夏枝	福江	
インゲン	金賞		三河 忠一	三井楽	お弁当	銅賞	とこぶし弁当	谷合千鶴子	富江
	銀賞		出端 八雄	福江		奨励賞	行楽弁当	片山寿賀子	大津
	銅賞		吉谷 茂	三井楽					
スナップエンドウ	金賞		出口美代子	富江					
	銀賞		浜辺 律子	三井楽					
	銅賞		谷合 博	富江					
			大津 助男	本山					
			山口 廣行	本山					

上地区入賞者

部門	褒賞	品名	氏名	支店	部門	褒賞	品名	氏名	支店
葉菜の部	組合長賞	つわぶき	長山 スマ	新魚目	葉菜の部	JA ごとう奨励賞	ほうれん草	平田トシ子	上五島
加工の部		湯がきカンコロ	永田友二郎	上五島			春菊	江山 静子	有川
果菜の部		インゲン	根津 初子	有川			ブロッコリー	椿山 チト	新魚目
葉菜の部		深ねぎ	田口 昭洋	有川			金時草	永田 寛孝	上五島
根菜の部	五島振興局長賞	馬鈴薯	田中 松治	上五島	根菜の部	JA ごとう奨励賞	大根	江山 静子	有川
根菜の部	新上五島町長賞	甘藷	椿山 チト	新魚目			かぶ	笹山ケイ子	若松
葉菜の部	新上五島町奨励賞	ツルナ	川上キミ子	若松			かぶ	山村 美子	上五島
果菜の部		インゲン	古川 常雄	新魚目			人参	田口 昭洋	有川
葉菜の部		つわぶき	古川 キヤ	新魚目			人参	因幡 邦司	上五島
加工の部		湯がきカンコロ	田口 昭洋	有川			馬鈴薯	山田 達史	上五島
葉菜の部	JA ごとう奨励賞	ほうれん草	松阪 肇	上五島			里芋	寺田美恵子	上五島
		キャベツ	野口トメ子	有川			里芋	戸村フヂヨ	有川
		白菜	田口 昭洋	有川			玉葱	田口 昭洋	有川
			田中 松治	上五島			ゆでぼし大根	因幡 邦司	上五島
		深ねぎ	尾上さつき	新魚目	漬物	戸崎イチエ	有川		
小ねぎ	江山 静子	有川	漬物	川口 ミト	上五島				
			折口 文子	有川					



産直市場

五島がうまい・直送便

食農教育 もちつき



12月22日(土)産直市場「五島がうまい」前特設広場にてもちつきが行われました。およそ50名が参加し、10月8日に子どもたちが収穫したもち米でできたもちの味は格別で、地産地消について楽しく理解を深める機会となりました。

たべてみんなね

このコーナーでは
直売所の出荷者の皆さんをご紹介します



本山支部 谷川富美江さん

私は現在、スイートスプリングを中心に、いろいろなかんきつ類を出荷しています。スイートスプリングは見た目が青く、酸っぱそうな品種ですが、実自体は甘く、近年急成長の品種です。その他にもレモン、みかん、ザボン、紅八朔など皆さんが安心して食べていただけるよう栽培しておりますので、産直市場「五島がうまい」にお越しの際は、ぜひお試しください。

私のいちおし!



安全・安心な五島産のかんきつ類



巳年生まれ 年男さん・年女さんの抱負



小田 健太くん(11)
平成13年10月15日
新上五島町宿ノ浦郷
「みんなをまとめることができるソフトボール部のキャプテンを目指します」



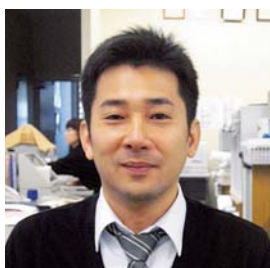
片山 志津香さん(23)
平成元年3月31日
五島市上崎山町
「もっと人に優しく接したい」



切江 英臣さん(47)
昭和40年8月13日
新上五島町青方郷
「今年こそ釣りで大物を釣り上げたい」



尾上 さつきさん(47)
昭和40年5月16日
新上五島町曾根郷
「いろいろな野菜づくりにチャレンジしたい」



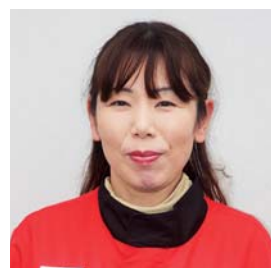
松本 英樹さん(35)
昭和52年1月31日
五島市大荒町
「一人前の金融部職員になれるよう頑張ります」



中野 光浩さん(47)
昭和40年11月20日
五島市浜町
「農家の所得向上に貢献できるよう頑張りたい」



濱田 俊彦さん(47)
昭和40年6月8日
新上五島町七目郷
「JAごとうの発展のため、より一層尽力したい」



石谷 里代子さん(47)
昭和40年9月10日
五島市三井楽町
「今年も組合員さんにたくさんの笑顔を届けたい」

◎このページの見方◎



氏名(年齢)
生年月日
住所
新年の抱負



中村 努さん(35)
昭和52年11月1日
五島市岐宿町
「地域の方に愛される店舗づくりを目指します」



中村 貞子さん(47)
昭和40年2月3日
五島市三井楽町
「自分で決めた生産目標を達成できるよう頑張りたい」



山戸 徳光さん(59)
昭和28年6月16日
五島市富江町
「青枯病を克服し、五島ルビーの収量20トンを狙いたい」



講義を受ける参加者

五島牛の更なる向上を目指して

—第7回五島肉用牛大学—

当JA家畜市場で十二月二十日、五島肉用牛大学の講義が行われました。今回で七回目となった同大学では講義のほか、同月上旬に実施された視察研修の結果について意見交換がなされました。

今回の講義には五島振興局、JAごとう、生産者などおよそ九十名が参加。一時間目の講義として「肉用牛の改良対策について」を長崎県肉用牛改良センターの石崎彰徳所長が、二時間目には「子牛の下痢・疾病対策について」と題して五島地区家畜診療所の佐野隆史獣医師が講義を行いました。

一時間目では、さまざまなデータを基に、第十回全共での取り組みや結果を踏まえた長崎県の現状について説明。今後の肉用牛生産における優良種雄牛の紹介などを行いました。二時間目は牛の下痢について代表的な二つの原因とその予防対策について説明。牛房の消毒や子牛の防寒対策、母牛の飼養管理などについてアドバイスを行いました。

同大学事務局では今後も毎月第三木曜日に講義を行うが、家族経営が多い地域性を考え、今後は家族単位での受講を呼び掛けています。

生育順調で出荷量大幅増へ

—塩蔵高菜販売会議—



現地確認の様子

当JAは十一月十三日、同JA本店及び管内圃場にて塩蔵高菜販売会議を開きました。

JAごとうでは高菜を主要品目の一つと位置付けており、生産と管内三ヶ所の加工所で塩蔵処理を一貫して行い、契約先へ販売しています。管内の今年度の高菜栽培面積は約八十五畝（前年対比六〇増）、二、八二五ト（前年対比七一六ト増）の生産量を計画。今回の会議では契約先の担当者、JA担当者合わせて十六名が参加しました。本格的な漬け込み作業を前に、生産計画などを協議しました。

JA担当者は「今年は十月の雨不足で当初生育が遅れたが、同月後半からの雨で上々の出来となっている」と述べています。また、今年には害虫の発生が少なく、契約数量を大幅に超える豊作が期待されています。

同JAでは高菜を二〇一三年度中に特別栽培農産物に認証することを目指しており、契約先のニーズに合った高品質の高菜を栽培する計画です。

（日本農業新聞十二月十三日掲載）

鮮度管理の徹底に重点

—契約レタス出荷ピーク—



収穫を行う出口さん

当JA管内では十二月に入り、レタスの出荷がピークを迎えています。

五島産のレタスは栽培履歴の記録や品質チェックシートの記入によって鮮度保持を徹底しているため、味・品質ともに高く、全量が関東向けの契約栽培となっています。昨年は大雨や強風により生育と出荷に大きな影響が生まれましたが、今年産レタスに関しては大きな自然災害もなく、ほぼ順調に生育が進んでいます。

五島市三井楽町の出口一郎さんは約九十坪の圃場でレタスを栽培。連日、およそ十名で収穫作業を行っています。

JA担当職員は「一昨年は天候不順で十二月分のレタスの約半数はやられてしまった。今年は天候にも恵まれ、二月まで安定した出荷を期待したい」と述べました。

（日本農業新聞十二月十五日掲載）

風味豊かなイチゴをどうぞ

—さちのかイチゴ出荷スタート—

当JA管内のハウスでは十二月十六日からイチゴの収穫がスタートしました。今年産イチゴの滑り出しは順調で、三月下旬からのピークに向け豊作が期待されています。

管内では十二戸の農家が一六九㏎で「さちのか」を栽培。同品種は糖度が高く、酸味とのバランスが良いのが特徴です。

五島市籠淵町のハウスで栽培を行っている野原敏さんは「例年に比べ出荷が遅れたが、味・品質ともに良好。ピークに向け、温度と水の管理を徹底し、おいしいイチゴを届けられれば」と語りました。

JA担当職員は「今年産のイチゴは風味が良いので、巡回指導や出荷検討会などを通じ、更なる品質・収量アップを図りたい」と述べました。

(日本農業新聞十二月二十一日掲載)



収穫を行う野原さん

春芽の収量増へ向け協議

—アスパラガス出荷反省会—

当JAは十二月二十一日、本店で二〇一二年産アスパラガス出荷反省会を開きました。

二〇一二年産のアスパラガスは管内五十戸の農家で栽培。栽培面積は六三〇㏎で、春芽の出荷については二月の日照不足による低温のため、出荷自体が遅れたものの、高単価で推移しました。

会には部会役員、JA担当者など二十五名が参加。生産販売の経過報告や市場情勢などについて報告がなされました。また、今回から部会独自で総出荷量、反収の二つの項目について各上位三名の表彰があり、部会の活性化に向けた取り組みも見られました。

JA担当職員は「温度管理や病害虫対策を万全にして、来年は高単価で取引される春芽アスパラの収量を増やしていきたい」と語りました。



会議の様子

冬の貯金はJAへ

—福江支店クリスマスツリー設置—

当JA福江支店では、クリスマスに合わせクリスマスツリーを支店内に設置し、支店を訪れたお客様の目を楽しませました。

同支店では年間を通じてお客様に楽しんで頂き、新たなJAファンの獲得につなげようと、夏にはオリジナルのすだれを設置するなど、店内の美化を積極的に行っています。

設置されたツリーには、JA貯金キャラクターのちよきんぎよが所々に配置され、昨年末まで行われた定期貯金キャンペーンのPRとして同支店の職員が考案しました。

ツリーを見たお客様からの反応も好評で「支店に入った瞬間、ツリーが見えたので驚いた。季節ごとにきれいな飾り付けがされているので、足を運ぶのが楽しみ」との声も。

同支店では今後も、季節にちなんだ飾り付けを予定しており、身近に感じられるJAを目指す計画です。

(日本農業新聞十二月二十一日掲載)



皆様のご来店をお待ちしております。



青年部との連携強化へ

—女性部ミニ門松づくり—



当JA女性部は十二月十三日からおよそ一週間、管内各支店、出張所にてミニ門松づくりを行いました。例年女性部が単独で行っている行事ですが、今回は昨年十月に開かれた意見交換会の内容を反映し、初めて青年部も材料の調達から参加しています。

十二月十四日に大津出張所で行われた門松づくりにはおよそ二十名が参加し、それぞれが思い思いのミニ門松を作っていました。参加者からは「同じ材料でも、みんなそれぞれ違う門松ができていておもしろい。早速自宅に飾りたい」などの感想がありました。

女性部担当職員は「今年は材料となる竹の切り出しなど、青年部の協力もあり助かった。今後それぞれの部会の垣根を越えて交流を深めたい」と話しています。

(日本農業新聞十二月十九日掲載)

協同作業で親子の絆深める

—フレッシュミズクリスマスケーキづくり—



当JA女性部フレッシュミズ部会は十二月二十二日、JA本店にて「親子で手づくり教室 クリスマスデコレーションケーキ作り」を行いました。

今回は部会員とその子どもたち二十五人が参加。クリスマスに合わせて、親子で思い思いのデコレーションケーキを作りました。

参加した子どもたちからは「生クリームが泡立ってが大変だった」や「買ってきたケーキよりもおいしそう」などの声も聞かれました。

部会員からも「自分達の好みのケーキができるので、来年も作ってみたい」といった声も。

JA担当職員は今回の取り組みについて「今回は部会員の要望が多く実施の運びとなった。持ち寄り材料を分け合いながら、楽しい時間を過ごすことができましたので、今後も魅力ある活動を企画・実施していきたい」と述べました。



お天気カレンダー

逃げたくなる寒さ

—一般財団法人日本気象協会 ● 檜山靖洋

♪おおさむ、こさむー♪ 山から小僧が寒いと言って逃げるくらい寒い季節に入ります。気象台や測候所が観測している気温は、地面から1m50cmのところ、だいたい大人の顔の高さです。冬の朝、冷え込む日は、地面付近の熱がどんどん空へ逃げていく放射冷却現象が強いことが多いです。地面付近は、気温を観測している高さより三度から五度くらい低くなることが多いです。例えば、気温が三度と発表された場合、足元は氷点下ということがあります。底冷えの日は、気温の数字より低いことを想定して、足元を温かくすることを勧めます。

寒い空気は重いので、下にたまりやす。室内で暖房を使う際は、よく空気を混ぜないと暖かい空気は天井付近に逃げてしまいます。サーキュレーターや扇風機などを使って、暖かい空気が逃げないようにしましょう。





元気よくそばを刈り取る児童

そば通じ食の大切さ学ば

— 盈進小学校 そば刈取り —

当JA青年部は十二月三日、五島市立盈進小学校（五島市富江町）の五～六年生十四名とそばの収穫を行いました。青年部では毎年同校でそば栽培を通じた食農教育を行っています。

今年は天候等の条件もあり、収穫が早まったものの、黒い実のついたそばに児童らは興味津々で鎌を使って収穫を行いました。生徒たちは「収穫は楽しいけど腰が痛い」や「早くそばが食べたい」と言いながら保護者らも交えて楽しく収穫を体験。

今回収穫したそばの実は脱穀・乾燥を行い、同月十三日に地域に伝わるだしを使い、試食会を実施しました。

同青年部の新井真二部長は「子供たちに農業・地域の食文化を知ってもらう重要な機会。今後も継続し、少しでも農業をやってみたいという子どもが増えてくれれば」と話しました。

（日本農業新聞十二月七日 掲載）

自然の恵みに感謝

— 崎山小学校 小麦種まき・うどんづくり —



真剣な表情で作業

当JA青年部は十二月四日、五島市下崎町の市立崎山小学校の児童らとうどん作り並びに来年に向けた小麦の種まきを行いました。

今年でうどん作りは五年目を迎え、青年部員のうどんを打つレベルやだしの取り方なども年々向上しており、毎年生徒たちも楽しみにしています。

うどん作りに使用した小麦は六月に同校の五～六年生が収穫したもので、今回は来年に向けて四～五年生が種まきを行いました。

上級生が作ったうどんを食べた一年生からは「とってもおいしい。自分達も早く種まきをして、うどんを作ってみたい」などの感想が聞かれました。

同JA青年部員は「子どもたちが収穫した麦が、うどんとして食べられるまでの生産者の苦労や、収穫の喜びを知ってもらうことができたので、良かった。少しでも農業に関心を持ってもらうことができたのでは」と話しました。

（日本農業新聞十二月十一日 掲載）

餅つき通じ地域と交流

— 富江小学校 餅つき —

当JA青年部は十二月二日、五島市立富江小学校で行われた富小まつりにて、同校の生徒、保護者らおよそ二〇〇名と餅つきを行いました。

餅つきに使用されたもち米は六月に同校の四～六年生が田植えを行い、十月に一～三年生が収穫したものです。食農教育の一環として、同校では初の試みとなった今回のもち米づくりでは、日頃からお世話になっている地域の方々との交流も一つの目的としており、各学年で作業を分担して作ったきたての餅を、まつりに集まった地域住民に振る舞いました。

参加した青年部員は「田植えから餅つきまで同校では初めての取り組みだったが、どの作業でも子どもたちの笑顔が印象的だった。来年以降もこうした取り組みを継続し、もっと農業に親しんでもらえれば」と述べました。

（日本農業新聞十二月九日 掲載）



笑顔で餅つき

金融部 からの お知らせ



「ありがとう」は
照れくさかったから、
「頑張るね」と言った。

JA教育ローン学くん CCG **学くん** CCG **学くん**
〈キャンペーン期間〉
平成24年11月1日～平成25年4月30日

固定
金利型

年 **2.2%**

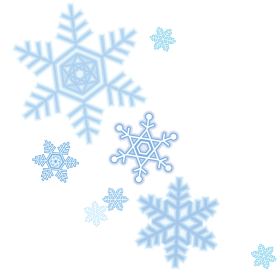
平成24年11月1日現在

●JA教育ローン商品概要 (お申込条件は各JAによって異なる場合がございます)

- | | |
|--|--|
| <p>ご利用いただける方</p> <ul style="list-style-type: none"> ●借入時の年齢が20歳以上、完済時の年齢が71歳未満の方 ●勤続(営業)年数が1年以上の方 ●所定の収入がある方(150万円以上) ●JAが指定する保証機関の保証を受けられる方 ●その他JAの定める条件を満たしている方 <p>お使いみち</p> <ul style="list-style-type: none"> ●入学金・授業料の他に施設費など、学校へ納入する資金および就学のためのアルバイト等入庫費用にご利用いただけます。 <p>ご融資金額</p> <ul style="list-style-type: none"> ●10万円以上500万円以内(所要金額の範囲内) <p>ご融資期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ●最長13年6ヶ月以内(ただし、在学期間+7年6ヶ月以内) <p><small>※ローン商品の詳しい内容については、店頭にて説明書をご用意しております。
※店頭にて返済額の試算を承っております。
※金利については、申込日時点の金利を適用いたします。
※上記金利は金融情勢等の変化により見直しさせていただく場合があります。</small></p> | <p>ご返済方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ●元利均等返済(月払方式またはボーナス月増額返済併用方式) <p>担保・保証</p> <ul style="list-style-type: none"> ●担保:不要です ●保証:JAが指定する保証機関の保証をご利用いただけます。
※保証料が別途必要になります
(保証料率(別) 長崎県農業信用基金協会 年0.36%) <p>ご利用いただく書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1住民票 2健康保険証(写) 3所得証明書(給与所得の方は、源泉徴収票または住民税決定通知書で可) 4合格通知書、入学案内書及び募集要領、納付通知書 5その他JAが必要とする書類 <p><small>※繰上げ返済を行う場合や返済条件を変更する場合には、別途JA所定の手数料が必要となります。
※JAおよびJAが指定する保証機関において所定の審査をさせていただきます。審査の結果によっては、ご希望に沿い兼ねる場合もございますので、あらかじめご了承ください。</small></p> |
|--|--|

「JAとのお取引はこれから」というお客様も
お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。
(ご利用に際しては、組合員加入のための出資が必要となります。)

JAバンク長崎



編集後記

あけましておめでとうございませう。一月は「睦月」ですが、一説には親類や知人が互いに往來し、仲睦まじくする月のためそういった名称が付けられたといわれます。

私も例に違わず、正月を熊本の実家で過ごしました。久しぶりに再会する地元の人たちや親戚なども交えて、昔話に花を咲かせてきました。

正月といえば、雑煮など

の料理。私の実家では、父親が鹿兒島出身ということもあり、出汁といえは鰹だしを使うことが多いのですが、今月号の青年部の活動で取り上げたとおり、五島では地域によってさまざまなお出汁を使い、そばやうどんなどを作っていました。

全国にはあんこ入りの餅を使った雑煮などもあるようなので、機会があればチャレンジしたいと思っています。

(紙漣 諒)



住所: 〒853-0041 五島市籠淵町2450-1
電話: 0959-88-9933
FAX: 0959-88-9922
営業時間: 9時～19時
※農家レストランは10時30分～15時(予約については別途)
※土日・祝日限定バイキング 11時～15時
料金 大人: 1,000円 子ども: 500円(小学生以下)
定休日: 毎月第1・第3月曜日(祝日の場合は営業、振替なし)

葬儀のことなら誠意と真心で奉仕する



株式会社JAごとう葬祭
斎場 浄倫会館

【本店】

〒853-0041 長崎県五島市籠淵町2450
TEL 0959(72)8211 FAX 0959(74)5266

【上五島支店】

〒857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷355-7
TEL 0959(52)2417 FAX 0959(43)1955

